



# よこはまし工連

Yokohama shikouren

# No.83



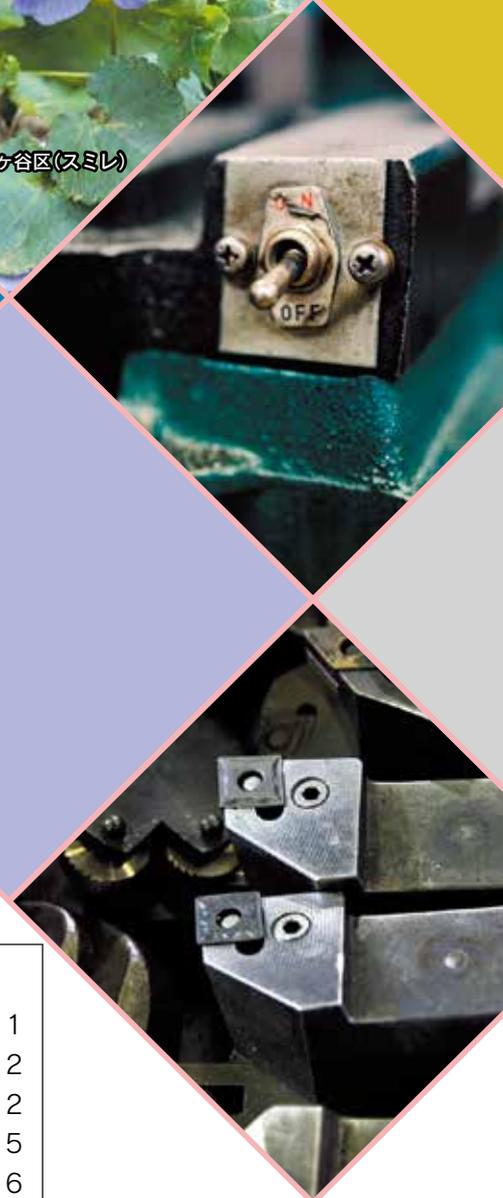
区の花:磯子区(コスモス)



区の花:保土ヶ谷区(スマイレ)



区の花:旭区(アサガオ)



(「区の花」写真提供:公益財団法人 横浜市緑の協会)

## 目次

新年のごあいさつ .....	1
すぐれたアイディア提案者のご紹介 .....	2
写真で綴る2020年(令和2年) .....	2
地域工業会 新会長へのインタビュー(横浜西部工業会 栗原敏郎会長) .....	5
会員情報交換のページ .....	6
地域工業会だより .....	7
横浜市からのお知らせ .....	13

発刊日:令和3年1月31日

編集・発行:一般社団法人横浜市工業会連合会

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階

TEL. 045-671-7051 FAX. 045-671-7321

URL: <http://www.y-shikouren.or.jp/>

デザイン・印刷:有限会社双葉印刷所



## 新年のごあいさつ

一般社団法人 横浜市工業会連合会

会長 榎本 英雄

令和3年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は当初、オリンピック・パラリンピックの開催で飛躍の年になると期待をもっていました。ところが、中国・武漢での新型コロナウイルス感染症による都市の閉鎖に始まり、国内では「テクニカルショウヨコハマ」の開幕を迎えようという2月3日に、新型コロナウイルス感染者が乗船したクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号が、横浜港に入港しました。

その後も緊急事態宣言の発動、第二波、第三波と、一時感染減少の兆しを見せた時期もありましたが、いまだに収束の時期は見通せません。

このように世界の人やモノの流れが制約を受けた中で、奮闘の日々を過ごされている皆様もいらっしゃると思います。しかしながら、このような疫病にいつまでも振り回されているわけにはいきません。

昨年、コロナウイルスで世界中が混乱している最中、日本では安倍長期政権が突然の終わりを告げ、横浜市に縁のある菅官房長官が第99代の内閣総理大臣となりました。

米国でも、トランプ政権に代わり、民主党のバイデン氏が新たに政権を担うなど大きな変化がありました。

年を改めて、新常态（ニューノーマル）という言葉が普通に使われている今年は、まさに新しいことにチャレンジするのに相応しい年と言えます。一方、創意工夫や柔軟な発想は大切ですが、これらは、これまで培ってきたコツコツと地道な活動があってこそ実を結ぶものではないでしょうか。今こそ横浜の経済を支えてきた市工連の会員の皆様に、力を発揮していただきたいと思います。

最後に、コロナワクチンの開発も進み、日本での供給も間近かと期待されています。今年は素晴らしい年となることを祈念するとともに、皆様には引き続き市工連へのご協力をお願いいたします。



## 令和3年の年頭にあって

一般社団法人 横浜市工業会連合会 名誉会長

横浜市長 林 文子

横浜市工業会連合会の皆様が新しい年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

今年は、ウィズコロナ社会における安全・安心な暮らしと横浜の将来にわたる成長のため、市民、事業者の皆様と力を合わせて、力強く歩いていく一年です。感染症対策の強化と経済再生の両立を最優先に、急激な感染拡大を抑え医療崩壊を防ぎます。デジタル化、脱炭素化に取り組み、横浜経済をお支えくださっている事業者の皆様をしっかりとご支援し、横浜経済の再生に力を尽くしてまいります。

新型コロナウイルスは、近い将来、必ず収束します。冷静に未来を見定め、立ち止まることなく、前進してまいります。2027年の国際園芸博覧会の開催、将来の経済成長を支える国家的プロジェクトであるIR（統合型リゾート）の実現に向けた取組や新たな劇場整備の検討を進め、魅力あふれる都市づくりと横浜の持続的な発展への道筋をつけていきます。

今年も皆様の健やかな暮らしと横浜の未来のため、全力で市政に臨む決意です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

# すぐれたアイデア提案者のご紹介

令和3年1月7日に開催予定の「市工連賀詞交歓会」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出が予定されていたため、中止しました。今回、賀詞交歓会の中で表彰予定の「すぐれたアイデア提案者」5名の皆さまは以下のとおりです。おめでとうございます。

「すぐれたアイデア提案者表彰」被表彰者（50音順・敬称略）

企業名	氏名	アイデアの名称	企業名	氏名	アイデアの名称
海洋電子工業株式会社	小倉 和明	感度校正試験の効率化	竹澤工業株式会社	山田 誉勝	高圧ヘッダー長手溶接の対策と改善の提案
	平 誉大	振動分析作業の効率化	株式会社吉岡精工	高畑 勝	測定値のデータ送受信による検査作業工数削減
株式会社ゲーン	安廣 真吾	油圧ショベルのバケットシリンダー倒立による油漏れトラブル防止			

## 写真で綴る2020年(令和2年)

### テクニカルショー ヨコハマ2020 2月5日～7日 (パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C)

新技術・新製品発表、販路拡大、ニーズ把握、新規取引獲得、技術の交流、情報の発信・収集・交換の場として開催。商談につながったとの声も聞かれました。

入場者 32,995人

参加企業 830社・団体

出展小間数 655小間

よこはまものづくりゾーン 出展企業 93社・団体



### 企業紹介フェア 2月6日 (パシフィコ横浜 アネックスホール)

県内の高校生を対象に中小企業や製造業に対する理解を深めるため、中小企業経営者による講演とテクニカルショー ヨコハマ見学会を実施。高校生も講師のブースなどで熱心に質問していました。

【協力企業】 横浜電子株式会社、第一フォーム株式会社

参加者 県立商工高校

1年生 214人



## 学校と企業の就職に関する懇談会 6月16日 (横浜産貿ホール)

市工連会員企業と高等学校等の進路指導担当教諭にご参加いただき、生徒の地元企業への就職を図りました。  
多くの学校、企業が今後もこの懇談会に出席したいというアンケート結果でした。

参加企業 38社  
参加校 14校



## 定時総会 6月25日 (ローズホテル横浜)

市工連会員により、事業報告、決算報告などが審議され承認されました。その後「横浜市工業団体役員表彰」を行いました。



## 横浜市へ予算要望書提出 10月28日 (市庁舎)

榎本市工連会長のほか、各地域工業会・事業会等の会長など代表者で市庁舎を訪問し、中小企業の現状と課題について取りまとめた「令和3年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を榎本会長から林文字横浜市長に手渡しました。



## 施設見学会 11月12日 (横浜港施設見学会)

市工連役員・各委員会の委員等を対象に会員経営者同士が情報交換する機会をつくるため、横浜港シンボルタワーや横浜港流通センターなどを見学し、また、懇親を深めました。  
参加者 20人



## 出前講座・工場見学 11月19日

### 【協力企業】日本貿易印刷株式会社

戸塚泉栄工業会の会員企業の工場を見学し、経営者から中小企業で働くことや求める人材について話を聞いた後、工場を見学しました。

参加者 県立翠嵐高等学校 (定時制)  
1年生他 47人



# 地域工業会 新会長へのインタビュー

横浜西部工業会 栗原敏郎会長

## 【趣味の変遷】

私の趣味は広く浅くがモットー。10代、20代はリュックを背負いシュラフを持ち、JRの周遊券で全国のユースホステルや駅の待合室、海辺で野宿と、旅に出ました。ヒッチハイク、貨物列車に便乗するなど、今では考えられない旅でした。22歳の韓国一人旅を最後に趣味は仕事に転向（笑）。30代は、スキー（2級）、水上スキー（2級船舶）など、家族サービスも兼ねてやりました。40代では本来の趣味（仕事）に立ち帰り福島に工場を立ち上げ親孝行の真似事も。50代からは仕事以外で、鍍金の業界と障がい者雇用（今年で62年）に取り組み、海外にも工場をとの夢は諦め、今に至っています。

## 【会社の経営について】

先代（父親）が昭和29年11月神奈川県で創業した亜鉛めっき工場は、今年で66年を迎えました。昭和38年に保土ヶ谷区に移転。現在は亜鉛めっき、亜鉛ニッケル合金めっき、カチオン電着と防錆処理で車の部品を中心に仕事をしています。保土ヶ谷に移り、近くの障がい者施設から多くの子を雇用。設備を自動化し、現在では横浜・福島2工場で34名の障がい者が働いています。

また、BCPとして福島に工場を新設。地元の雇用創出と障がい者雇用促進のお手伝いをさせていただきました。

現社長は3代目ですが、私同様設備投資が好きで令和2年度も横浜工場でめっき設備を導入するなど精力的に行動しています。やはり血筋は・・・

## 【地域工業会について】

西部工業会は3区（瀬谷・旭・保土ヶ谷）の工

業会が合併してできた会で、古くからの会員が多く、気心が知れた方々が多いです。しかしお互いの会社を行き来することはないので、互いの仕事内容が分からないと思います。西部工業会のホームページに写真を掲載し、事業内容を見てもらえば、違った交流が始まるのではと期待しています。

また市工連の傘下に青年経営者会があります。会員企業の後継者には異業種の皆さんとコミュニケーションをとるために出て行くなど、有効に利用してほしいです。

今年度についてはコロナ禍の中、会合や懇親会の中止や書面開催が多く、顔を合わせてもZoomの中。これではストレスが溜まるので、西部工業会では1月20日にフェイスシールドをして賀詞交歓会を行うことにしましたが、緊急事態宣言の発出のため残念ながら中止となりました。早くコロナを飛ばして良い年を迎えたいものです。



ドイツ視察時の写真

## ◆ 会員情報交換 ◆

PRINTING HOUSE  
FUTABA



看板等も施工いたします

神奈川県屋外広告業登録 第1970号  
横浜市特例屋外広告業届出 第2471号

# 有限会社 双葉印刷所

〒236-0002  
横浜市金沢区鳥浜町2-13  
TEL 045-353-8531  
FAX 045-353-8534  
www.futaba-printing.co.jp



**23色 OK!!**

**1個から OK!!**

**量産物 OK!!**

# KOHKEN アルマイト

なら  
**コーケン**へ!!

[www.koh-ken.jp](http://www.koh-ken.jp)

一般アルマイト17色、  
ハードアルマイト6色の  
多色展開でビジネスを強力サポート!!  
単品から量産まで幅広く対応致します!!  
アルマイトで売上アップに貢献します!!

COLOR ALUMITE					
17 COLORS					
BK	RD	BR	PL	GM	
BL	CG	SV	GD	GR	TIG
TIB	EBL	PI	OR	SG	YL
HARD ALUMITE 6 COLORS					
HNT	HBK	HRD	HPL	HOR	HGR

**迅速 対応!!**

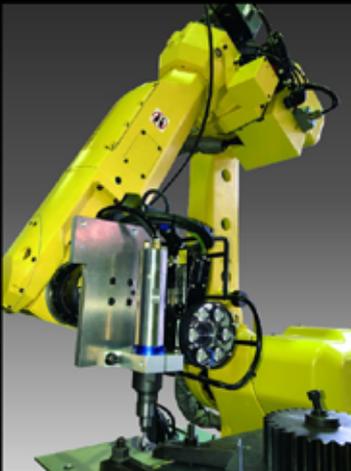
**配送 OK!!**

**再アルマイト OK!!**

光研電化  
Presented by **KOHKEN**

担当：井上  
Mobile : 080-9273-2297  
E-mail : inoue@koh-ken.jp

〒224-0053  
神奈川県横浜市都筑区池辺町 3313  
Tel : 045-511-7333 FAX : 045-511-7443



中小製造業の人手不足の課題は

## ロボットによる自動化で解決します!

ロボットは大工場だけで使われるものではありません  
人手不足でお悩みの中小企業こそ、  
必須の時代です

ロボットで何かできるか  
分からない?

採算がとれる運用ができるだろうか?

操作する専任スタッフが必要になるのでは?

このような疑問を含め、  
産業用ロボットのシステムインテグレータ **当社にお任せ下さい**



**三宝精機工業株式会社**

FA・ロボットシステムインテグレータ(Sier)協会会員  
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町405番地  
TEL 045-822-3561 FAX 045-821-3368  
E-mail robot@sanpo-seiki.com  
<https://www.sanpo-seiki.com>



**A-lounge**  
Coworking space



## Coworking space

仕事・勉強・会議・打ち合わせ・テレワーク・読書...  
あなたの時間を創るラウンジがここに

ドロップイン（一時利用）1時間500円～  
月額会員 5,000円～  
コーヒー・紅茶などフリードリンクサービスあります♪

〒236-0058 横浜市金沢区能見台東1-7 K-SQUAREビル 1F

TEL 045-752-9098  
E-mail info@a-lounge.net  
HP <https://a-lounge.net>

  
HP QRcode





寺嶋会長

## 鶴見区工業会

(鶴見区)



長嶺事務局長

令和2年1月から11月までの間に、コロナ禍の中、次の催し・事業を実施しました。

### 1月16日「令和2年新春賀詞交換会」



### 2月20日「令和元年度 合同地区懇談会」



(元ラグビー日本代表 三宅 敬氏による講演)

5月の「通常総会」は、コロナ対応の関係でホテルでの開催を断念し、書面開催で実施しました。

### 10月2日「第38回ボウリング大会」



### 11月2日「令和2年度日帰り研修」



(資生堂 S/PARK(エスパーク)Museum) (横濱ゲートタワー建設工事)



(横濱ゲートタワー建設工事) (懇親会「横浜ベイホテル東急」)



桐ヶ谷会長

## 神奈川工業会

(神奈川区)



江藤事務局長

### 【桐ヶ谷会長2期目は役員構成が若返る】

- <新任> 総務委員会委員長 小山大輔
- <新任> 経営委員会委員長 田中秀一
- <新任> 会員交流・拡大委員会委員長 平出晴久

### 【コロナ禍】

コロナ禍で予定していた事業はほぼ見送りとなり、6月の総会も書面審議となった。

### 【賀詞交歓会】

理事、総務委員の検討と会場との調整により、令和3年賀詞交歓会の開催を決定したが、後日中止となった。

### 【インフルエンザ予防接種】

会員向けサービスの試験的取組みとして、当工業会が調整役となって、インフルエンザ予防接種枠を一定数確保して、会員企業4社に予防接種の機会を提供した。

協力：特別医療法人 慈啓会 大口東総合病院

### 【日産パビリオン見学会】

神青会の取組みとして、みなとみらいに期間限定でオープンした日産パビリオンの見学会を実施した。(写真参照)



### 【理事会】

理事・役員のご理解とご協力を得て、マスクの着用とソーシャルディスタンスを確保した会議形式により4回の理事会を開催し、必要な検討や賀詞交歓会を想定した懇親会を行った。



加藤会長

# みなと工業会

(西区・中区)



菊地事務局長

## 【コロナ禍の中での取り組み】

職場における感染対策等、会員間で情報を共有するため3回にわたり、会員にアンケートを行い集約し全会員に報告、会員間で共有しました。

メールマガジンは月2回送信してきましたが、積極的に活用し、会員に情報を提供してきました。

## 【第329回朝食会】10月20日(火) 43名

コロナ禍で経営の方々も、感染対策と経営活動に苦慮されていることから「現況下、経営はどう考えるべきか」と題して中小企業人財活性化塾主宰松本孝彦氏に講演いただきました。



## 【第330回朝食会】11月17日(火) 30名

企業における感染対策等「出席会員間の意見・情報交換」をテーマに、企業における新型コロナウイルス感染対策や現況下の中での経営方針等をテーマに意見を交換しました。

## 【令和2年度納涼事業】8月28日(金) 34名

8月28日(金)17時より、HOTEL THE KNOT YOKO HAMAにおいて、真宗大谷派祐光寺僧侶・早稲田大学講師中下大樹氏をお招きして「経営に効く仏教の教え」と題し、コロナ禍での経営者のあり方等ご教授いただきました。



斎藤会長

# 南事業会

(南区)



山下事務局長

## 令和2年を振り返って

令和2年は、1月に開催された「新年賀詞交歓会」を最後に、新型コロナウイルス蔓延により、3月以後の行事がすべて中止となるに至りました。

事業会としての重要な事業、「第38回 令和2年度通常総会」も残念ながら、当会として初めての書面総会の開催となってしまいました。

又、例年南区の行政と連携して参加し、会員間の親睦を図る大切な場であった「南区桜まつり」、夏休み中の「南まつり」も、すべてコロナウイルスの影響で開催中止に追い込まれ、事業会の活動が大幅に制約されてしまいました。

そのため、会員様に情報提供を目的とし、年間4回発行の事業会の活動をお知らせする主要な広報活動である「南事業会ニュース」も、種々の行

事の中止による掲載する記事の不足で、3月・12月の2回のみでの発行で終わりました。

令和2年11月からの新型コロナウイルス感染拡大の影響で、苦慮の末すでに「令和3年 新年賀詞交歓会」の開催も中止といたしました。

「南区桜まつり」もすでに中止が決定しており、年頭から寂しいスタートになりました。

願わくば、急速に新型コロナウイルス感染拡大が終息し経済活動も含め、令和3年度の種々の行事が通常に戻り、皆様の笑顔が戻ることを期待しております。

今年度は役員改選の年でもあり、役員改選も含め心機一転、横浜市工業会連合会とも連携し、有意義な情報を会員皆様にお届けしたいと思っております。



稲村会長

# 港南区工業会

(港南区)



志澤事務局長

## ★コロナ禍における港南区工業会運営検討会

去る12月8日に月例の理事会と同時開催で「コロナ禍における港南区工業会運営検討会」と題し理事対話会を行いました。市工連や各地域工業会に限らず様々な団体では、諸活動の自粛や会議形式に制限を設けるなど、コロナウイルス感染対策には十分に配慮して活動をされていると思います。

このような現状は当会も同様で、コロナ禍中における活動には未だ試行錯誤の状態です。この苦境を早期に打開し、新年からの組織運営をコロナ禍中から終息後に至るまでの間整備をし、理事間の意識を一体化することによって、当会はもとよりその会員一人ひとりが、令和3年を新たな気持ちで迎えスタートをしようということがこの対話会の目的です。

本来ならば会員皆さんへ周知し、より大勢での意見交換をしたいところですが、会長が招集権限を有する理事会員に限定し実施しています。

対話会においてはもう一つのテーマとして、それぞれの業種の立場でのコロナ対策とコロナ禍後の再生計画案なども提供し合おうと銘打ちました。

対話の中では様々な意見が出て、まとまる話やそうでない意見もありましたが、大筋としては、現在の各団体活動の行事実行可否については、当会においては、今後は我々独自の決定方針を決め、周囲に左右されない状態での最善策によって運営するという意見でまとまりました。また、今年度中止した事業については極力次年度事業の合間に入れて実施しようという結論も出ました。

我々各地域工業会は、足並みは揃えているものの、各会の地域独自のカラーをもって活動していると認識しています。当会でも、その地域色を維持しながら、令和3年をコロナによる逆境を順境に転換すべく新たな視野を増やして活動しよう、出席理事相互に意識高揚を得た有意義な対話会でした。



栗原会長

# 横浜西部工業会

(保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区)



飯島事務局長

## ☆令和2年度工業団体役員・優良工業従事者表彰式と新旧会長の交替



栗原新会長

遠藤前会長

下田旭区長

9月10日(木)、この日予定していた総会は書面開催となりましたが、ホテルキャメロットジャパンにおいて、遠藤昇前会長から栗原敏郎新会長へ会長が交代しました。併せて令和2年度工業団体役員・優良工業従事者表彰式が行われ、22名が表彰されました。



栗原会長及び下田旭区長による表彰状授与

遠藤前会長からは「5年間会長職を務めてきた。中でも上瀬谷通信基地跡地活用の要望を出した結果が、計画に載って安心している。これからは副会長になるが、減っている会員数を増やしていきたい。」との挨拶がありました。

栗原新会長は、株式会社大協製作所の代表取締役役員会長です。昨年度までは横浜西部工業会の副会長を務めていました。「会員のためにできるだけやっていきたい。」と意気込みを語っていました。



表彰式全体写真



長谷川会長

# 磯子事業会

(磯子区)



斉藤事務局長

令和2年は、コロナ禍により本来の事業がすべて中止になりました。

2月のダイヤモンドプリンセス号の頃は、パシフィコ横浜ではテクニカルショウヨコハマを開催中で新型コロナウイルスについてもまだ深刻には考えていなかったと思いますが、あっという間に蔓延してしまいました。

当会の事業としては、通常総会は書面評決となり、例年、磯子区と連携して行う事業（磯子まつり、横浜マラソン沿道清掃等）も中止となりました。

行政からは助成金や融資の情報をいただき会員の皆様にお伝えいたしました。神奈川県・横浜市双方からの情報をすべてお伝えできたのか不安もあります。

終息するかにみえたものの11月からまた感染者

が増加してきました。

感染者増加がピークアウトして落ち着くのがいつになるのか、状況次第では来年度も先が見えない状況になりましたが、早く新型コロナウイルスが終息することを願っております。

磯子区では賀詞交歓会も中止が決定しています。活動自粛や飲食店の時短営業など経済にも深刻な影を落としており、生活や就業の形態も変化を余儀なくされることになりましたが、これから状況に即応できるように準備していかなければならないと思っております。

まだ今年度は2か月残っていますが、4月からの新年度ができる限り通常に戻れるようになり、会員の皆様と楽しく交流ができるようになることを願い新年度を迎えたいと思っております。



沼田会長

# (一社)横浜金沢産業連絡協議会

(金沢区)



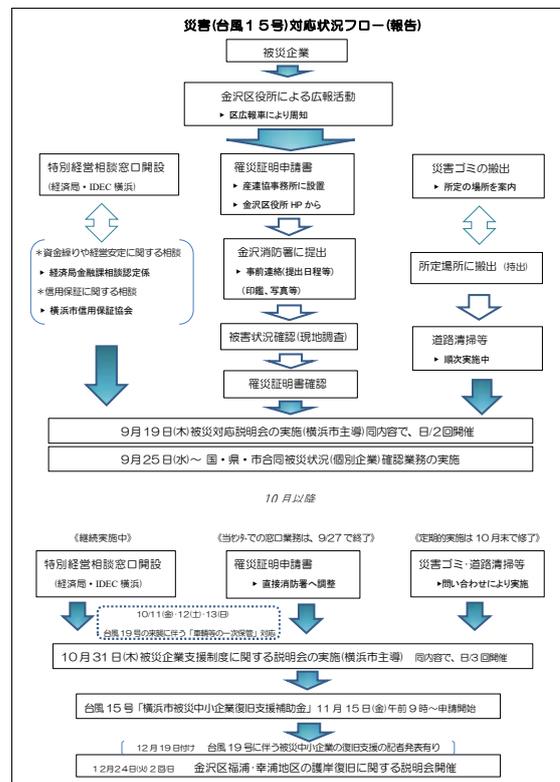
木村事務局長

## 【情報提供事業について】

今回ご紹介する取組みは、産連協が昨年の自然災害、ここ金沢地区に台風15号が来襲した際実施した情報提供内容（フロー）を事例とした情報発信についてです。災害時には、産連協がいかに被災企業のお役に立つべきかを走りながら考え、各行政と調整するとともに、情報の共有化を図り、対応策を実施しました。

「経営相談窓口」、「罹災証明手続き」、「災害ゴミ」が大きな3つの柱で、その他調整実施すべき事項を、一つひとつ冷静かつ適確に対応を図ることが、被災企業への支援であると考え実施しました。

現在の新型コロナウイルス感染症対応においても、未だ収束したものは無い状況下を踏まえ、今後想定できない自然災害の猛威に備えるために、各行政との緊密な連携（情報交換等）・調整を図るとともに、会員企業への迅速なる情報提供を実施してまいります。



災害(台風15号)対応状況フロー



# 横浜市金沢団地協同組合

(金沢区)



## ○鳥浜バス通り花壇活動

恒例となった鳥浜町バス通り花の植栽、約1kmのバス通り沿いの180個の花壇に花を植える活動も16年目となります。

11月12日(木)2000本の「よくさくスマレ」と「ノースポール」を配布、企業の皆さんにより一斉に植えられました。

また、16日(月)には、県立金沢養護学校の高校1年生9人が約100本の花苗を植えてくれました。

来春もバス通りに満開の花が咲き、コロナ禍中にあっても工業団地で働く人や訪れる人々へ憩いを与えられることでしょう。



組合企業による花植

養護学校学生による花植

## ○組合インフルエンザ予防接種

令和2年11月24日、鳥浜町の県予防医学協会集団検診センターにおいて、組合インフルエンザ

予防接種が実施されました。

同事業は、「健康経営」活動の一環として県予防医学協会と組合が連携・実施しており、今回は約210人の従業員がワクチンを接種しました。



神奈川県予防医学協会集団検診センター

## ○鳥浜工業団地の渋滞問題検討会議

11月19日、本年度2回目の「鳥浜工業団地の渋滞問題検討会議」を組合会館で開催しました。鳥浜町周辺では、昨年からの大型商業施設が開業したことに伴い、団地内道路及び国道357号線が組合企業の操業に影響を及ぼすほど渋滞しています。本会議は、組合、横浜市、市議員及び商業施設を運営する三井不動産(株)、大和リース(株)が一堂に会し、現状を認識するとともに、今できる解決策を導出して実行し、根本的な渋滞改善対策を検討することを目的としています。



# (一社)横浜北工業会

(港北区・緑区・青葉区・都筑区)



## ○コロナ禍での事業推進

4月～8月までの5か月間は、コロナ感染拡大のため、会の基本的な事項を決定する理事会は書面表決、総会は委任状による最低限の人数での開催とし、事業は当面中止しました。

8月に事業運営を検討する総務、組織広報、事業企画、工業振興、厚生5委員会を開催し、9月からの事業実施の決定及び三密対策の確認をしました。



専門委員会の協議風景

### 1. ランチョンミーティング：9月から再開

- 9月：第1回「コロナ関連支援策を活用を考える」
- 10月：第2回「コロナ大廃業時代を生き延びる」
- 11月：第3回「コロナ禍の経営戦略」
- 12月：第4回「親族外事業継承・M&Aを考える」
- 1月：第5回「退職金を考える」



ランチョンセミナーの風景

- 2月：第6回「障害者雇用を考える」
- 3月：第7回「健康関連テーマ：(検討中)」

### 2. Webセミナーの開催(11月から新規実施)

11月から8月まで北工業会ホームページに経営者向け・リーダー向け・職員向けの3コースのセミナーのパナーを掲載。各30講座(月3回更新×10か月)

### 3. 経営者セミナー(2月に2講座を残し中止)

- 11月18日再開：プレイングマネージャーの育成
- 12月17日：営業戦略を上げる企業戦略



セミナー風景



黒田会長

# 戸塚泉栄工業会

(戸塚区・泉区・栄区)



末村事務局長

## 【初めてのリモート会議】

ご承知のとおりコロナ感染対策のため4月7日に緊急事態宣言が出されて以来、人が集まる全ての行事や会議・集会等も全国的に禁止状態となった。

その間の当工業会の企業は、コロナ対策のガイドラインを遵守し、それぞれ自社に合った方法で細々と事業活動を行っているのが実態であるとの話が多かった。

当然のことながら、当工業会が実施する理事会・総会・情報交換会等も全て中止となっている。したがって当工業会の現活動状況や会員企業の実情を知り、意見交換を行なうために、初めての「臨時リモート理事会」を実施することとなった。

## 【打ち合わせ内容】

日時 令和2年9月17日(10:00～11:30)

場所 三宝精機工業(株)

出席者 リアル参加 10社、WEB参加 5社

(各理事の報告と意見交換)

- 1) 市工連関係
- 2) スケールメリット
- 3) ものづくり自慢展
- 4) HPのリニューアル
- 5) テクニカルショウヨコハマ

(今後の検討)

- ・Zoomを活用した会議等の検討
- ・簡単な機関紙発行の検討
- ・小規模の会議体

## 【リモートの反省】

- ・準備段階でテストを含み時間を要した。
  - ・一時音声途切れた。
  - ・最初の頃不慣れのせい緊張感があった。
- 実際にリモートで会議をやってみて慣れてくると良いものだと理解した。



山崎会長

# 横浜青年経営者会

## 定例会1 令和2年6月15日(月)

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度第1回定例会は「副市長懇談会」と題し、林副市長並びに星崎経済局長、高柳ものづくり支援課長をお招きしてオンラインによる会議を開催しました。会員企業の現況報告やコロナ感染対策の取組み等を説明し、行政と積極的な意見交換を行うことができました。

## 定例会2 令和2年10月23日(金)

「ロボットで活性化する『かながわ』のミライ」と題し、第1部では神奈川県産業労働局産業振興課 遠藤課長より活動内容や支援内容を中心に講演をいただき、第2部では神奈川県産業技術総合研究所企画部 大屋企画部長より KISTEC の立ち上がりから活用方法、コロナ禍においての施設利用の減免策等を説明いただき、県施設や施策等の見識を深めることができました。



定例会1



定例会2

# 横浜市からのお知らせ

## 「BCP、災害時の備えはできていますか？ 事業継続力強化計画」策定セミナーについて

横浜市では、中小企業が災害・感染症による被害を軽減し、事業を継続していくために、国が創設した「事業継続力強化計画」（※右下参照）の策定支援を進めています。今回、横浜市工業会連合会等との共催により、令和2年10月29日に市内企業の皆様を対象に、「事業継続力強化計画」をその場で作成できるセミナーを会場及びオンラインで開催しました。また、開催にあたっては、横浜市との包括連携協定に基づき、損害保険ジャパン株式会社様にご協力いただきました。

本セミナーは、「事業継続力強化計画」を実際に作成する演習を中心としたプログラムとなっており、計画書を確認しながら、「自然災害等が発生した場合における対応手順」や「事業継続力強化に資する対策及び取組」等の各項目の考え方や、経済産業省に申請する際のポイントなどを解説いただきました。

講師を務めていただいた高橋 孝一 氏（SOMPOリスクマネジメント株式会社 首席フェロー）は、企業のリスクマネジメントがご専門で、官庁等で有識者として数多くの委員会に参画され、「事業継続力強化計画」の制度設計の検討会委員にもなっています。

高橋講師からは、災害の被害情報を迅速に共有するために、多くの社員が会社HPの更新をできるよう対策をしておくことや、社員が自ら安否確認の連絡をするよう日頃からの意識づけが重要となることなど、ご自身の会社での取組も事例として紹介いただきながら、分かりやすく伝えていただきました。



SOMPOリスクマネジメント株式会社  
首席フェロー 高橋 孝一 講師

また、セミナーの事後フォローとして、損害保険ジャパン株式会社様や、共催者の横浜企業経営支援財団（IDEC横浜）による「事業継続力強化計画」の策定支援を行っています。

セミナー後のアンケートでは、「申請は事務が煩雑なため、今回のように具体的な書き方の説明は助かる」、「今回作成した事業継続力強化計画を申請し、徐々に内容を充実させていきたい」といった声が寄せられました。

横浜市では、今後も「事業継続力強化計画」等の策定支援を実施する予定ですので、ぜひ、ご活用ください。セミナー開催等の情報は横浜市ホームページや市工連メールマガジンでお知らせいたします。



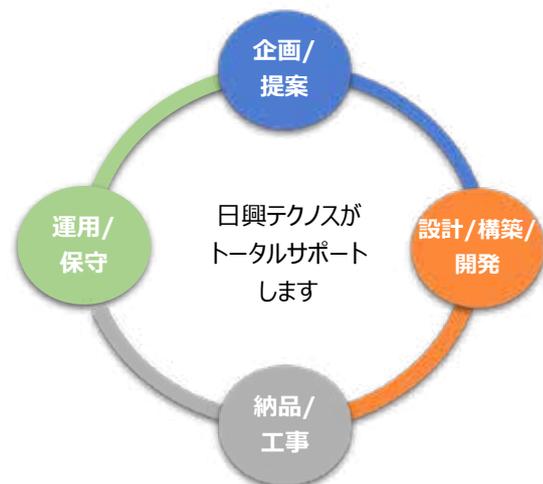
セミナーの様子  
(会場：損保ジャパン横浜馬車道ビル)

### ※「事業継続力強化計画」について

「事業継続力強化計画」は、中小企業が自然災害等による事業活動への影響を軽減することを目指し、事業活動の継続に向けた取組を計画するものです。

令和元年7月施行の「中小企業強靱化法」により、防災・減災に取り組む中小企業がその取組を「事業継続力強化計画」としてとりまとめ、経済産業大臣がその計画を認定する制度が創設されました。認定を受けた中小企業は、防災・減災設備に対する税制優遇、低利融資、補助金の優先採択等のメリットを受けることができます。

私たちはICTの総合インテグレータとして高度なテクノロジーとサービスの提供によりお客様の満足を実現してまいります。



- ・パソコン・サーバー機器
- ・基幹システム  
生産管理「きばる工場長」  
勤怠管理、販売管理システム等
- ・電話・ネットワーク環境構築
- ・働き方改革
- ・コロナ対策

## 日興テクノス株式会社



<http://nikko-technos.com/>  
045-761-2441

神奈川県横浜市磯子区森3-3-5

## 損保ジャパン

SOMPO 保険の先へ、挑む。

「安心でいたい」

「安全でいたい」

「健康でいたい」

それはきっと、誰もが抱く切なる願い。

そして私たちの願いは、

人々の普通の想いに寄りそう、

パートナーであり続けること。

変化の先を常に予想し

捉えることは、私たちの使命。

「最高品質のサービス」で、

すべての人にお応えします。

# 保険の先へ、挑む。

横浜で頑張る企業を応援

# ハマふれんど

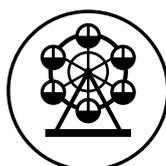
安心で社員に笑顔を



給付金



宿泊



レジャー



人間ドック



グルメ



スポーツ観戦



ベネフィット  
ステーション

ハマふれんどは、横浜市勤労者福祉共済の愛称で、横浜市が実施する市内中小企業向けの福利厚生制度です。昭和45年に発足し、市内で働く皆様の福利厚生の充実と、企業の振興に寄与することを目的としています。

【ご加入条件】**横浜市内にある従業員300名以下の事業所**がご加入いただけます。

※個人事業主・公益法人・病院・NPOなどもご加入いただけます。事業所の福利厚生制度のため、事業を営まない個人でのご加入はできません。

約4,400事業所、約71,000名が加入中! 中小企業も大手並みの福利厚生を!

<配布物>



ガイドブック

※年1回発行、会員一人1冊配布  
約100ページに渡り情報が満載



会報誌

※年8回発行、レジャー補助券、会員限定イベントなど  
旬でお得な情報が満載

『横浜市』の制度だから安心!  
導入メリット

- 手間いらず
  - 低コスト
  - ワークライフバランス支援
- ※2親等以内の親族まで利用OK

期待される効果

- 社員満足度向上、生産性の向上
- 採用強化、離職防止
- パートタイム・有期雇用労働法 (2021年4月施行) への対応

入会金なし・不課税  
ひとり月々**500円**で充実の福利厚生! 新規加入事業所募集中!

お問合せ先・資料請求はこちら

横浜市勤労者福祉共済 (ハマふれんど)

●お問合せ ☎045-662-4435

🌐 <https://www.hamafriend.jp/> ハマふれ 検索